



東京都立水元小合学園

肢体不自由教育部門

就業技術科

合同チームでボッチャ大会に出場！



試合前のエール
「いくぞ!」「オー!!」



2試合しました。
戦績は
1勝1敗です。



「ボッチャ楽しい」「また来年もやりたい」という、生徒の感想が聞かれました。

9月29日（土）、就業技術科の生徒3名と肢体不自由教育部門の中学生2名で合同チームを編成して、「第2回 CACカップ 学生ボッチャ交流戦」（SUBARU総合スポーツセンター：東京都三鷹市）に参加してきました。

6月から始まった合同練習では、外部講師に佐藤勝枝さん（東京ボッチャ協会副会長）、佐藤駿さん（日本ボッチャ協会強化指定選手）をお迎えして、少しずつ技を磨き、チーム作りに励んできました。給食と一緒に食べて互いのことを質問しあったり、CACカップのスタッフが学校に来た日には、皆で取材を受けたりもしました。

試合は、皆やや緊張した面持ちでスタートしましたが、途中互いに目配せをしたり、声をかけあったりし、互いを思いやる投球は、まさにこれまでの練習の成果でした。

次の試合に進めなかったことは悔しかったですが、大会の場でおさめた1勝に、皆が晴れ晴れとした表情をしていました。昼休憩の後、対戦校の試合を観戦し、生徒たちは「うまいなあ」と感嘆の声をもらし、ボッチャの奥深さを改めて感じていました。

パラスポーツの理解を深め、本校両部門の絆を深める記念すべき一日となりました。参加した5名には、両部門のさらなる連携の架け橋となってほしいと願っています。



ひびせんしん みずもとこあい